平成27年度　鎌ケ谷市事務事業評価表（事後）（標準評価表）

事務事業名	公園維持管理に要する経費	会計	款	項	目	多額経費
		一般	8	4	5	
政策	22快適な暮らしの環境をつくります	担当課室	公園緑地課			
施策	222快適な公園・緑地環境の整備	担当課室長	弓削 孝司			

Ⅰ　改革・改善内容（＝事務事業をより良く実施するための方策）

①前回の評価で掲げた内容	公園サポーターとのコミニュケーションを大切にし、各公園の状況などに応じた管理を行う。
②①に基づく取組み結果	各公園の状況などに応じた管理を行った。

③平成27年度に取組む改革・改善内容	引き続き、公園サポーターとのコミニュケーションを大切にし、各公園の状況などに応じた管理を行う。

Ⅱ　事務事業の目的・概要

①目的	対象	市が管理する都市公園 ふれあいの森	意図（対象をどうするのか）	来園者に対して気持ちの良い公園を提供する。
②事務事業の概要		都市公園及びふれあいの森の清掃、除草、樹木剪定、施設の管理及び修繕。		
③環境分析（事業開始からの状況変化や今後の見込み・市民意向など）		市民との協働管理においては、高齢化が進んでいる。		

Ⅲ　事務事業の成果やコストの状況

①平成26年度の事業の成果	公園サポーター管理による公園を増やし、来園者に対して気持ちの良い公園を提供することができた。

②成果を表す指標		指標名称	平成24年度	平成25年度	平成26年度	単位	算定根拠
	i	公園サポーター数	32	33	34	人	業務取得
	ii	公園サポーター管理公園数	38	39	40	箇所	業務取得
	iii						

③事務事業のコスト	平成25年度決算	平成26年度決算	平成26年度決算（事業費）の主な内訳		平成27年度予算
			金額（千円）	内容	
事業費（千円）	137,995	135,771			143,134
国支出金（千円）			93,001	公園管理委託	
県支出金（千円）			21,924	公園維持工事	
市債その他（千円）					
一般財源（千円）	137,995	135,771			143,134

Ⅳ　評価・検討

①課題（目的に対する現状など）	都市公園数の増加や既存施設の老朽化に伴う維持管理費の増加。					
②評価	i 市関与の妥当性	3高い	iii 公平性	3高い	v 総合評価	7拡充
	ii 有効性	3高い	iv 効率性	3高い		
③上記評価の理由	公園管理において、地域住民の参加を増やし、公園に対する愛着と意識を高める必要があるため。					

Ⅴ　多額の経費を要する事業等の「実施計画」における達成状況

①平成26年度の計画	
②計画に対する事業実績	
③達成状況	
④未完了・非着手の理由	

平成26年度事業費の状況（単位；千円）						
計画事業費	予算額			決算額		
	0	当初		0	H25からの繰越	
		H25⇒26繰越			現年分	
		補正				
		流用・充当				
平成27年度への繰越額（単位；千円）						

平成27年度　鎌ケ谷市事務事業評価表（事後）（標準評価表）

事務事業名	緑化推進に要する経費	会計	款	項	目	多額経費
		一般	8	4	5	
政策	22快適な暮らしの環境をつくります	担当課室	公園緑地課			
施策	222快適な公園・緑地環境の整備	担当課室長	弓削 孝司			

Ⅰ　改革・改善内容（＝事務事業をより良く実施するための方策）

①前回の評価で掲げた内容	ふれあいの森マップを作成する。
②①に基づく取組み結果	ふれあいの森マップを作成。

③平成27年度に取組む改革・改善内容	引き続き、市民が利用できる公開された緑地を確保する。

Ⅱ　事務事業の目的・概要

①目的	対象	ふれあいの森	意図（対象をどうするのか）	市民が利用できる緑地の確保、土地所有者の負担軽減。
②事務事業の概要	ふれあいの森は設置期間を5年として土地所有者と使用賃借契約を締結する。			
③環境分析（事業開始からの状況変化や今後の見込み・市民意向など）	市管理から自治会・市民ボランティアによる管理体制の検討が必要である。 所有者の高齢化に伴う、相続税対策が求められてる。			

Ⅲ　事務事業の成果やコストの状況

①平成26年度の事業の成果	市民の為の良好な緑の保全を図ることで、快適な緑地環境の確保ができた。

②成果を表す指標		指標名称	平成24年度	平成25年度	平成26年度	単位	算定根拠
	i	ふれあいの森面積率	2.46	1.96	2.16	%	業務取得
	ii	市民一人当たりのふれあいの森面積	0.33	0.38	0.41	㎡	業務取得
	iii	市民一人当たりの公園面積	2.27	2.85	2.9	㎡	業務取得

③事務事業のコスト	平成25年度決算	平成26年度決算	平成26年度決算（事業費）の主な内訳		平成27年度予算
事業費（千円）	26,129	17,825	金額（千円）	内容	27,638
国支出金（千円）			5,418	借地料等	
県支出金（千円）			6,334	整備費	
市債その他（千円）					
一般財源（千円）	26,129	17,825			27,638

Ⅳ　評価・検討

①課題（目的に対する現状など）	市管理から自治会・市民ボランティアによる管理体制の移行。

②評価						
i 市関与の妥当性	3高い	iii 公平性	3高い	v 総合評価	7拡充
ii 有効性	3高い	iv 効率性	3高い		

③上記評価の理由	市民に森林レクリエーション及び保健休養の場を提供することを目的とするため。

Ⅴ　多額の経費を要する事業等の「実施計画」における達成状況

①平成26年度の計画	
②計画に対する事業実績	
③達成状況	
④未完了・非着手の理由	

平成26年度事業費の状況（単位；千円）						
計画事業費	予算額			決算額		
	0	当初		0	H25からの繰越	
		H25⇒26繰越			現年分	
		補正				
		流用・充当				
平成27年度への繰越額（単位；千円）						

平成27年度　鎌ケ谷市事務事業評価表（事後）（標準評価表）

事務事業名	地区公園整備事業(粟野地区公園整備事業)	会計	款	項	目	多額経費
		一般	8	4	5	○
政策	22快適な暮らしの環境をつくります	担当課室	公園緑地課			
施策	222快適な公園・緑地環境の整備	担当課室長	弓削 孝司			

Ⅰ　改革・改善内容（＝事務事業をより良く実施するための方策）

①前回の評価で掲げた内容	第二期整備計画区域(2.7ha)の用地買収に着手する。また住民協働による第二期整備計画(案)の策定作業を始める。
②①に基づく取組み結果	第二期整備計画区域(2.7ha)の用地買収に着手した。また住民協働による第二期整備計画(案)の策定作業の準備を始めた。

③平成27年度に取組む改革・改善内容	引き続き、第二期整備計画区域(2.7ha)の用地買収を行う。また第二期整備計画(案)の策定作業を進める。

Ⅱ　事務事業の目的・概要

①目的	対象	粟野の森及びその周辺の斜面地、休耕田(約8.3ha)	意図（対象をどうするのか）	樹林地の保全を行い、自然環境を体感し、観察し、学習する場とする。
②事務事業の概要		第二期整備事業斜面地や休耕田(2.7ha)の取得、整備する。		
③環境分析（事業開始からの状況変化や今後の見込み・市民意向など）		市内では樹林地が減少しており、新鎌ケ谷地区の街づくりの進展に伴い自然環境を活かした粟野地区公園の早期整備の要望が強まった。		

Ⅲ　事務事業の成果やコストの状況

①平成26年度の事業の成果	粟野地区公園用地取得（第二期整備計画区域）

②成果を表す指標		指標名称	平成24年度	平成25年度	平成26年度	単位	算定根拠
	i	第二期用地取得面積			40	%	業務取得
	ii						
	iii						

③事務事業のコスト	平成25年度決算	平成26年度決算	平成26年度決算（事業費）の主な内訳		平成27年度予算
事業費（千円）	44,494	54,161	金額（千円）	内容	107,907
国支出金（千円）	14,400	17,000	51,455	用地購入費	38,000
県支出金（千円）					
市債その他（千円）	14,400	30,600			63,600
一般財源（千円）	15,694	6,561			6,307

Ⅳ　評価・検討

①課題（目的に対する現状など）	粟野地区公園一部開園に伴い、さらに第二期整備計画区域(2.7ha)の早期完成の要望が強い。					
②評価	i 市関与の妥当性	3高い	iii 公平性	3高い	v 総合評価	7拡充
	ii 有効性	3高い	iv 効率性	2普通		
③上記評価の理由	第一期に続き、早期完成の要望が強い第二期整備計画区域を整備していく必要があるため。					

Ⅴ　多額の経費を要する事業等の「実施計画」における達成状況

①平成26年度の計画	用地買収
②計画に対する事業実績	第二期整備計画区域一部用地買収
③達成状況	完了
④未完了・非着手の理由	

平成26年度事業費の状況（単位；千円）						
計画事業費	予算額			決算額		
53,897	54,346	当初	53,897	54,161	H25からの繰越	0
		H25⇒26繰越	0		現年分	54,161
		補正	0			
		流用・充当	449			
平成27年度への繰越額（単位；千円）						

平成27年度　鎌ケ谷市事務事業評価表（事後）（標準評価表）

事務事業名	街区公園整備事業(東道野辺ふれあい公園、川慈公園)	会計	款	項	目	多額経費
		一般	8	4	5	○
政策	22快適な暮らしの環境をつくります	担当課室	公園緑地課			
施策	222快適な公園・緑地環境の整備	担当課室長	弓削 孝司			

Ⅰ　改革・改善内容（＝事務事業をより良く実施するための方策）

①前回の評価で掲げた内容	東道野辺ふれあいの森の用地取得。 川慈公園の公園整備を図る。
②①に基づく取組み結果	東道野辺ふれあいの森の用地取得。 川慈公園の公園整備完成。

③平成27年度に取組む改革・改善内容	引き続き、東道野辺ふれあいの森の用地取得。

Ⅱ　事務事業の目的・概要

①目的	対象	東道野辺ふれあいの森	意図（対象をどうするのか）	住民要望がある公園整備をする。
②事務事業の概要		東道野辺ふれあいの森の用地購入、川慈公園の公園整備。		
③環境分析（事業開始からの状況変化や今後の見込み・市民意向など）		森林レクリエーション及び保健休養等の場として求められている。		

Ⅲ　事務事業の成果やコストの状況

①平成26年度の事業の成果	東道野辺ふれあいの森の用地購入。 川慈公園の整備を完了。

②成果を表す指標		指標名称	平成24年度	平成25年度	平成26年度	単位	算定根拠
	i	東道野辺ふれあい森用地購入			20.2	%	業務取得
	ii	川慈公園の整備			100	%	業務取得
	iii						

③事務事業のコスト	平成25年度決算	平成26年度決算	平成26年度決算（事業費）の主な内訳		平成27年度予算
事業費（千円）	95,978	159,214	金額（千円）	内容	98,230
国支出金（千円）	31,000	37,000	150,010	用地購入費	32,000
県支出金（千円）			7,761	整備費	
市債その他（千円）	57,200	71,600			57,600
一般財源（千円）	7,778	50,614			8,630

Ⅳ　評価・検討

①課題（目的に対する現状など）	吸収源対策公園緑地事業として、用地取得の早期実現及び整備を進める必要がある。

②評価						
	i 市関与の妥当性	3高い	iii 公平性	3高い	v 総合評価	7拡充
	ii 有効性	3高い	iv 効率性	2普通		
③上記評価の理由	緑の基本計画における緑の将来像実現のため、今後も公園整備を実施する必要があるため。					

Ⅴ　多額の経費を要する事業等の「実施計画」における達成状況

①平成26年度の計画	用地買収、工事
②計画に対する事業実績	東道野辺ふれあいの森の用地購入、川慈公園の整備
③達成状況	完了
④未完了・非着手の理由	

平成26年度事業費の状況（単位；千円）						
計画事業費	予算額			決算額		
155,644	159,240	当初	101,044	159,214	H25からの繰越	0
		H25⇒26繰越	0		現年分	159,214
		補正	54,600			
		流用・充当	3,596			
平成27年度への繰越額（単位；千円）						

平成27年度　鎌ケ谷市事務事業評価表（事後）（標準評価表）

事務事業名	公園施設長寿命化事業	会計	款	項	目	多額経費
		一般	8	4	5	○
政策	22快適な暮らしの環境をつくります	担当課室	公園緑地課			
施策	222快適な公園・緑地環境の整備	担当課室長	弓削 孝司			

Ⅰ　改革・改善内容（＝事務事業をより良く実施するための方策）

①前回の評価で掲げた内容	長寿命化計画を基に維持管理を実施。
②①に基づく取組み結果	長寿命化計画を基に維持管理を実施した。

③平成27年度に取組む改革・改善内容	引き続き、長寿命化計画を基に維持管理を実施。

Ⅱ　事務事業の目的・概要

①目的	対象	鎌ケ谷市内の公園施設	意図（対象をどうするのか）	既存施設の長寿命化対策及び安全対策の強化を進める。
②事務事業の概要	公共施設の計画的な維持管理の方針や長寿命化対策計画を定め、公園施設の安全確保と機能保全を図りつつ、維持管理予算の平準化を図ることを目的とする。			
③環境分析（事業開始からの状況変化や今後の見込み・市民意向など）	公園施設の老朽化が急速に進む中で、計画的な維持管理に取り組むことが必要となっている。誰もが安心して利用出来る都市公園の管理が望まれる。			

Ⅲ　事務事業の成果やコストの状況

①平成26年度の事業の成果	長寿命化計画を基に貝柄山公園のトイレ施設の更新をした。

②成果を表す指標		指標名称	平成24年度	平成25年度	平成26年度	単位	算定根拠
	i	対象公園数		176	176	箇所	業務取得
	ii	長寿命化対策計画対象施設数			6.4	%	業務取得
	iii						

③事務事業のコスト	平成25年度決算	平成26年度決算	平成26年度決算（事業費）の主な内訳		平成27年度予算
事業費（千円）	11,895	46,406	金額（千円）	内容	20,000
国支出金（千円）	4,000	0	46,405	トイレ更新工事	10,000
県支出金（千円）					
市債その他（千円）		42,296			500
一般財源（千円）	7,895	4,110			500

Ⅳ　評価・検討

①課題（目的に対する現状など）	施設の老朽化が進む中、修繕・更新費用の平準化を図り、計画的に事業を進めることが課題。					
②評価	i 市関与の妥当性	3高い	iii 公平性	3高い	v 総合評価	7拡充
	ii 有効性	3高い	iv 効率性	3高い		
③上記評価の理由	誰もが安心して利用できる公園の管理が推進されることを念頭にし、今後進展する遊具等公園施設の老朽化に対する安全管理の強化を進める必要があるため。					

Ⅴ　多額の経費を要する事業等の「実施計画」における達成状況

①平成26年度の計画	施設の修繕・更新
②計画に対する事業実績	公園施設長寿命化整備
③達成状況	完了
④未完了・非着手の理由	

平成26年度事業費の状況（単位；千円）						
計画事業費	予算額			決算額		
48,000	46,415	当初	48,000	46,406	H25からの繰越	0
		H25⇒26繰越	0		現年分	46,406
		補正	0			
		流用・充当	−1,585			
平成27年度への繰越額（単位；千円）						